

「 お地ぞう様が教えてくれたこと 」

富山県 氷見市立比美乃江小学校 3年 田岸<sup>たぎし</sup> 奏人<sup>かなと</sup>

ぼくは、この夏休みに、おばあちゃんの家にとまる約そくをしていました。

その日は、強い雨がふっていて、楽しみにしていた海水よくや花火をする事ができなくなりました。

「雨のせいで、ぼくのよていがだいなしだ。」

はらを立てているぼくに、車の中でおばあちゃんが、

「そんなわがまま言うんじゃないよ。」

と言いました。

おばあちゃんの家で、ごはんを食べながら昔の話を教えてもらいました。

おばあちゃんの家に来ると中に、お地ぞう様があるのは、五十年ほど前に、大きな土しゃくずれで、親子が亡くなった場所だからだそうです。

雨がたくさんふると、きけんをふせぐために道路を通行止めをしているのは、そのためなんだなと知りました。

電車が止まり、高そく道路が通行止めになったり、土しゃくずれで家がこわれたり、人がケガをした話をテレビのニュースでたくさん見るので、とてもかなしいです。

自分のことばかり考えてはらを立てていた自分がはずかしくなりました。

次の日、おばあちゃんと、お地ぞう様におまいりをしました。

「何かを楽しみにして、この場所を通ったのかな。こわかったらうな。くるしかっただらうな。」

お地ぞう様の上には、山から木が、おおいかぶさっていて、また今にもくずれるのではないかと心ばいになりました。

家に帰って、お母さんに、この話をしたら

「五年前に、大雨で川がはんらんして、小学校の体いく館が、ひなん場所になったこともあったよ。」

と教えてくれました。

今まで気にしていなかったけれど、ぼくにもできることは何だろう。

きけんな場所には行かない。きけんにそなえたじゅんぴをしておこうと思いました。

家族や友だちとさいがいのことについて話しあって気をつけようと思いました。

雨で海水よくや花火はできなかったけど、お地ぞう様の話を聞いてよかったです。